



きたでさとし
北出 悟士

生年月 1986年7月和歌山県生まれ
最終学歴 2013年関西学院大学大学院
総合政策研究科
都市政策専攻 修了
業務経歴 2013年(株)IAOプランニング
&デザイン入社
2019年(株)昭和設計入社
現在、ソリューション部

- 担当した主なプロジェクト
- 2013~2019年 キンチョウスタジアム改修プロジェクト
- 2017年 美味しい体験湯浅まちごと醤油博物館
- 2019年 公立大学法人大阪基本計画
- 2019~2022年 兵庫県庁舎等再整備基本計画策定支援
- 2020年 大阪城東部地区まちづくりの調査検討
- 2020年~岩村田地区都市再生整備計画
- 2020年 越前市オープンインベション推進ビジョン策定支援業務及び南越駅周辺イメージ図作成業務

■青年技術者のことば

私は大学入学前に怪我により、一時期、車いすや松葉杖で暮らす生活を送っていた。その経験は、日常には、多くの不便さがあることを私に知らせてくれる大きな転換点となり、「そこで暮らす、生きる」とは何かという視点でまちや都市に関わりたいという思いが生まれ、仕事に取り組んできた。今までのまちづくりや都市開発の経験を通して感じたことは、そのまちに暮らす、そのまちを訪れる一人ひとりの思いは千差万別であり、その思いは一人ひとりと話をする中で初めて分かるということであった。その中で、利害関係等、多くの仕組みが複雑に絡み、新たな事象が次々と生み出される現代において、少しでも暮らしやすい、訪れたいまちに向け、建物や都市、環境、ユニバーサルデザイン、まちの歴史・文化、また、そこに生きる人、訪れる人というヒューマンスケールの視点を持ち、今後も多くの経験を積み重ね、人々が様々な思いを持って生きるまちづくりを目指したい。

■すいせん者

松下典央
(株)昭和設計 執行役員

美味しい体験 湯浅まちごと醤油博物館

和歌山県有田郡湯浅町における、「まち×食×体験型観光ブランド」を目指した事業。
重要伝統的建造物群保存地区に指定されているまちを一つの博物館(ミュージアム)として捉え、点在する伝統的建造物をパビリオンに見立て、各パビリオンで醤油を中心とした料理をコースメニューとして振る舞うことで、湯浅町を体験する、体験型観光を実施。



コース料理のお品書きデザインの作成



まち歩きマップの作成

岩村田地区都市再生整備計画 基本計画

中山道22番目の宿場町であり、昭和50年代までは商業の街として栄えた長野県佐久市岩村田地区において、現況調査や近隣住民とのワークショップ等を通して、まちの将来像を検討し、地区の在り方として計画の具体性や実現性を高めるため、県及び佐久市の支援を受け、基本計画を作成。



先行(予定)街区の計画図



まちづくり基本計画の鳥瞰図(報告書抜粋)

兵庫県庁舎等再整備基本計画策定支援

兵庫県庁周辺地域は、県庁舎や周辺県有施設の老朽化、元町駅を挟む南北の交通の分断など、様々な課題を抱えており、その課題の解決に向け、県庁舎及び周辺地域等の再整備の基本的な考え方となる「県庁舎ゾーン再整備計画」と「にぎわい交流ゾーン整備計画」で構成する『県庁舎等再整備基本計画』の作成を支援。
にぎわい交流ゾーン整備では、「品格のある賑わい」をテーマとし、それに見合うにぎわい施設や周辺景観を検討。周辺景観の検討では、景観調査を実施し、景観形成方針(案)を作成。



にぎわい施設の内観イメージパース